

## 編集後記

昨年7月より編集委員を拝受し、約1年半になりました。この間、小特集などの企画に関わらせていただきましたが、何をするにも能力不足で、委員長はじめ各関係者には多大なるご迷惑をおかけいたしました。特に事務局の方々には、本当に優秀な人が多く、様々な交渉や書類の確認など、いろいろな面で助けていただきました。ありがとうございます。

それにしても、なでしこジャパンや理化学研究所の高橋政代さんなど、最近の日本女性の活躍はめざましいですね。もっとも、"Heaven is an American salary, a Chinese Cook, a British Home, and a Japanese Wife."という格言があるように、昔から日本女性の優秀さは認識されていたのかもしれませんが（少し意味は違うかもしれませんが……）。

そういえば、「反応性プラズマ」の生みの親であり、高専の校長も務められた京都大学名誉教授の板谷良平先生が、ある会議の懇親会で「プラズマは犬か猫か」という話をされたことがあります。プラズマの制御の難しさをたとえら

れて、「猫だ、女性だ」と結論づけられたと記憶しています。当時学生だった私には、意味を理解できませんでしたが、男性的な論理で捕まえようとしても、相手は、思いも寄らない方法で逃げ出す、という意味でしょうか。板谷先生は同時に「そういう意味でも、これからは女性研究者の育成が必要」ということも話しておられたように記憶しています。

『元始、女性は太陽であった』とは、日本の思想家「平塚らいてう」の言葉です。地球上に太陽を創るのが、プラズマ・核融合研究の目標であれば、"Japanese"女性研究者ももっと活躍できる環境作りが必須かもしれません。

さて、この原稿を書き上げたら、今日私は妻と娘が待つ家へ帰らなければなりません。二人ともJapaneseのはずですが、ここでも私の能力不足で“制御”は難しく、とても"Heaven"とはいいがたい環境です。ツバメのように逃げ出すのではなく、これからも本学会誌を熟読してプラズマも女性も理解し、皆様の役に立てるように頑張ろうと思います。（川崎仁晴）

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	小森 彰夫	副 会 長	永津 雅章（推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長）	吉田 善章（推薦委員長：学会賞）
常務理事	室賀 健夫（総務委員長）			
理 事	浅野 克彦	安藤 晃	上田 良夫	
	内野喜一郎	小野 靖	甲斐 俊也（財務委員長）	
	草間 義紀（広報委員長）	久保 博孝	佐々木浩一（企画委員長）	
	白神 宏之（支部・地区研究連絡会委員長）	白谷 正治（研究部会連絡委員長）	豊田 浩孝（編集委員長）	
	波多野雄治	福山 淳（年会運営委員長）		
監 事	市村 真	森田 純子		

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：豊田浩孝(名大) 副委員長：波多野雄治(富山大)

エディタ：金子俊郎(東北大)，坂本瑞樹(筑波大)，中村祐司(京大)，長友英夫(阪大)，小西哲之(京大) 佐々木浩一(北大)

編集委員：安堂正己(原子力機構)，石澤明宏(京大)，稲垣 滋(九大)，太田貴之(名城大)，大西直文(東北大)，小田昭紀(千葉工大)，小田卓司(ソウル国立大)，陰山 聡(神戸大)，加道雅孝(原子力機構)，川崎仁晴(佐世保高専)，齋藤和史(宇都宮大)，清水昭博(核融合研)，白石裕之(大同大)，須田善行(豊橋技科大)，高橋俊樹(群馬大)，近田拓未(静岡大)，仲野友英(原子力機構)，沼田龍介(兵庫県立大)，比村治彦(京都工繊大)，松岡彩子(JAXA)，宮澤順一(核融合研)，森 芳孝(光産業創成大学院大)，森本泰臣(日揮)，八木重郎(核融合研)，八柳祐一(静岡大)，山本 聡(京大)，余語覚文(阪大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第91巻第11号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2015年(平成27年)11月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。